

令和2年7月3日

志木市教育委員会
教育長 柚木 博 様

志木市文化財保護審議会
会長 井上國夫

大小合併門樋の保存について(答申)

令和2年6月30日付けで諮問のあったことについて、別紙のとおり答申します。

大小合併門樋の保存について

一般国道254号和光富士見バイパス工事にあたり、大小合併門樋の現状の保存が困難なため、早急な記録保存を行い、部材を保存し、できるだけ早期に上流・下流側共に面壁と翼壁の復元を行うべきです。

1 一般国道254号和光富士見バイパス工事と大小合併門樋

大小合併門樋と排水路の高さが合わず、また、必要な排水量を確保できないため、一般国道254号和光富士見バイパス工事にあたって、排水路の機能補償として、ボックスカルバートの設置による排水路の整備が予定されており、大小合併門樋は撤去される予定。

また、上流部についても、一般国道254号和光富士見バイパスの下になるため、現状の保存ができない。

2 大小合併門樋を保存しようとする理由（文化財としての価値）

(1) 水害の多かった宗岡の歴史を理解するうえで貴重

水害が多く、惣囲堤に囲まれた宗岡では、樋門は、大変重要な建造物であり、宗岡の歴史を理解するうえで貴重な文化財である。

(2) 近代化遺産として貴重

明治31年建設。樋門の意匠も類例の少ないもので、県補助金に係る文書から、設計内容も分かり、近代の土木遺産として貴重。入間郡に建設された第1号の煉瓦樋門でもある。煉瓦の積み方は一般的なイギリス積みだが、翼壁天端下の一段は、長手を縦に積む変則積みで、現存する変則積みのアーチ型の樋門では県内唯一である（箱型のものは数例ある）。デンティル（歯状装飾）の施された樋門は、県内に現存するのは他には2例（川越市笹原門樋、春日部市五箇門樋）のみである。

土木学会による『日本の近代土木遺産(改訂版)－現存する重要な土木構造物2800選』では、籠嶋門樋、北美塚樋とともに市指定文化財クラスと評価されている。

3 保存策について

(1) 記録保存

樋門としては破壊されてしまうため、全体について記録として、三次元測量と写真撮影を行う。

また、上流・下流側の面壁と翼壁を復元するためにも記録が必要である。

9月には工事準備に入るため、早急な対応が必要。

(2) 樋門工事についての留意点

- ① 工事を行う埼玉県朝霞県土整備事務所と十分に協議を行い、最大限復元可能な方法を取るようにする。
- ② 工事に際して、工事経過の記録と構造を知るために、写真等で記録を取る。
- ③ 上流・下流側共に、面壁と翼壁を復元可能な方法で工事を進める。

(3) 部材の保管

復元ができるよう、適切に保管する。

(4) 復元について

① 時期

なるべく早期に復元する。

② 復元の進め方

復元にあたっては、志木市文化財保護審議会の意見を求め、適切な形で後世に引き継げるような復元を行う。